

# 入会のご案内

# 退職公務員新聞

一般財団法人 **日本退職公務員連盟**  
 〒113-0034 東京都文京区湯島4-12-3  
 ☎03(3822)1216 FAX03(3824)7779  
 振替00150-9-94644  
 E-mail: yushima@nikkoren.info  
 号外

## 会長挨拶

### 公務の経験を活かして 助け合いの社会をつくろう

一般財団法人 日本退職公務員連盟会長 津島 雄二



ご存知のように我が国は今、人類が経験したことがない超高齢社会を迎え、特に少子化による労働力人口減少の流れは、国の生産性と活力を脅かしています。

#### 人と社会に関わる

全ての方ではないにしても、皆様には自由に使って自分の時間を持つようになりました。皆様には健康と体力があり、人や社会、国を思う気持ちは他の職種の人々に抜きん出

たという実感がありません。お持ちの自

由になる時間、再任用等の勤務の傍らで、お住まいの退職公務員連盟でその想いを目に見える形に、具体的な行動で示されませんか。

当連盟は、昭和23年から70余年、一貫して政府の恩給・年金改革と向き合い、退職者の立場から現在の年金制度の骨格づくりに多大の貢献をしてきました。

昭和27年からは、財団法人として、会員の生活基盤の恩給・年金制度の維持を基本に、「隣保相助、公共に奉仕」を掲げ、高齢者福祉の増進に取り組んできました。

平成25年に一般財団法人への移行に伴って、子育て支援、伝統文化の伝承、高齢者の慰問等活動を一層「公」にシフトしています。

さらに現在、現職公務員や子育て世代の生活に関心を持ち、広く

国民の現状を踏まえた年金・医療・介護を含む21世紀型の社会保障制度改革を注視し対応しています。

日本の高齢社会 コロナによるパンデミックは、人間社会の脆弱性を露わにしました。全世界、国や社会の在り方に変革を促しています。私達はこの

際経験し、学んだことを整理して、これからの社会、人の生き方に活かしていかなければならない。

政府は今、「働き方改革」「全世代型の社会保障制度の構築」等

## 退公連はあなたの新しい生き方の拠点 あなたの知性が行動に向かう勇気を生み出す組織でありたい

### われらの信条

- 一、われらはかつて公務員であった矜持と面目を堅持しつつ 理想的な日本公務員制度の確立を要望する
  - 一、われらは全国民の福祉増進を念じつつ進んで公共に奉仕し 平和的文化国家建設の大業に寄与する
  - 一、われらは和を貴ぶ 同胞融合 隣保相助の民風を尊重し 身をもってその育成につとめる
  - 一、われらは思想的 政治的自由をもち 常に公正と中庸において帰一する
  - 一、われらは組織のもとに団結する われらの生活はこの組織と団結によって断固自ら守りぬく
- 一般財団法人 日本退職公務員連盟

### 退公連が目指すもの

- ◎ **退職後の生活保障**
  - ▼年金制度の改善・高齢者医療、介護制度の改善・充実
  - ▼高齢者及び女性の雇用、公務の特殊性に配慮した年金制度の確立
  - ▼社会保障制度の情報提供と改革への取組、年金相談の実施と充実
- ◎ **現職の人々への支援**
  - ▼公務員の65歳定年制の実現と活力の維持
  - ▼年金制度の持続と次世代への引き渡し
- ◎ **社会貢献活動に積極的参加**
  - ▼子どもの健全育成・学習支援、伝統文化の伝承
  - ▼高齢者施設・一人暮らしの世帯の慰問、街の清掃等による心が通い合う活力ある地域づくり
- ◎ **会員相互の交流と地域との信頼関係**
  - ▼地域の人々と共に研修会、健康づくり、旅行、趣味の活動等をもって、活力あるより幸せな長寿社会の実現をめざす



令和4年度自民党「予算・税制等に関する政策懇談会」で日公連の主張を述べる小松専務理事（左2人目）、鈴木専門員（右隣）

## 制度改革に反映された 日公連の要望事項

当連盟は、昭和23年発足以来、全国の退職公務員が結束してその結果として、高めて世界が目指す幸せな超高齢社会を創ることになります。

**お住まいの地から**  
 皆様、お察しのお通り、日本でも国民の間で貧富の格差や分断が取り沙汰され、偏狭な個人主義が広がっています。それが人の行動や文化にまで影響し、私たちの心の拠り所を揺るがし始めています。

皆様、この交互作用を豊かに展開し、人間の素晴らしさが作用し合う人類史に残る超高齢社会構築という壮大な事業に参加してください。退公連を心の拠り所にして活動されることを願っています。まずお住まいの地から始めてください。

当連盟は、昭和23年発足以来、全国の退職公務員が結束してその結果として、高めて世界が目指す幸せな超高齢社会を創ることになります。

**追加工賃(恩給期間分の)減額に当たり、配慮措置がとられた。**  
 一 基礎年金の国庫負担割合の引き上げと恒久化すること

**国庫負担割合1/3から1/2への引き上げと財源の確保を消費税の一部で恒久化された。**

一 デフレ経済下でのマクロ経済スライドの実施は慎重に行うこと

**景気後退期、年金額が前年度を下回らないこととし、景気回復期に賃金・物価上昇の範囲内で前年度までの未調整分を調整する。**

一 在職高齢年金制度の改善を図ること

**65歳未満の在職高齢年金の支給停止基準額28万円を47万円に引き上げられた。**

**65歳以上の在職高齢年金額を毎年改定することになった。**

一 65歳定年を実現すること

**第204通常国会で国家公務員の定年を65歳に引き上げる国家公務員法などの改正法が成立した。**

**今後の公的年金制度改革への日公連の対応**  
 公的年金制度は老後の高齢者の生活を支える中心的な役割を担っており、年金給付費の約7割は現役世代の保険料で賄われている。今日の年金制度は長年、制度改革に努力された先輩たちの苦勞の賜物であること。また、現職の人々が保険料を出して年金受給者を支えていること。我々はこれらの事実をしっかりと理解し、この制度を後世の人々に伝えていくことが求められます。

**令和3年度 社会保障制度改革に関する要望事項**

- 一 公務員の処遇・有為な人材の確保
- 一 公務員が職務に専念できる環境整備
- 一 公的年金を含む社会保障給付費の財源は安定した雇用と着実な経済成長により確保
- 一 超高齢社会・人口減少社会で労働力人口の確保
- 一 高齢者・女性が働きやすい環境の整備
- 一 現役世代の収入と公的年金の給付水準比較は保険料等を年金から控除した額で、単身高齢世帯の増加にも留意
- 一 後期高齢者医療の2割負担の対象は高齢者の生活実態を踏まえ慎重に

# 会員の生き方と退公連の活動

## 入会のお誘い あなたへの加入でより力強い組織に



日本退職公務員連盟 理事長 鯨岡 武

日本退職公務員連盟は現職時代、教職、都道府県・市町村職員、警察官、自衛官、郵政職員、消防職員等であった人々で構成される会員数二十万人を超える大きな組織です。勿論、会員数が多いことは退公連の対外的な

影響力を強め、今、進められている社会保障制度改革等への大きな影響力を及ぼすことが期待されております。会員の多くは入会後情報を得て、初めてこの組織の重要性に気がつくことが多くあります。問題は、ご理解いただけないと思われる現職の皆様、過年度未加入の皆様等への誘いの機会が持たず、入会が叶わないことでは、公的年金制度は世代と世代の助け合いのシステムです。年金受給者は現役世代の多額の保険料(18・3%)を支えらるることを認識しましょう。

◆今一番大事なことは、次世代に現行制度を引き継ぐことです。◆公的年金制度が仮に破綻したら、子どもたちが親を支えることになるが、本当に可能ですか。◆高齢者でも意欲と能力を、続けましょう。◆年金支給の原資となる積立金は脆弱でなく健全運営されています。「年金制度が破綻する、若い世代は年金を受け取れない」といった心配は無用です。◆高齢者になって、初めて理解できる医療費負担の過酷さと、健康不安に対する訴えを真剣に受けとめ、諸々意見申ししております。少ない例示ですが、先達が残された組織存在の意義を示す珠玉の言葉は無尽蔵です。皆様積極的に加入され存立の原点を知り、我が身に降りかかる社会保障制度改革が歪んだものにならないよう、共に意見発信して参りましょう。

### はじめて、「オンライン授業」を受けて

兵庫県退職公務員連盟川西支部 大西 経二 (2020年9月号掲載)

私の退職後のライフワークのひとつは、大学で勉強することでした。ここ数年間科目等履修生の資格で、京都大学農学部へ週一回通っています。講義内容もさることながら、若者集団の大学の雰囲気味わうのも、目的の一つです。安い学費で、図書館をはじめ大学の施設を学生さんと同じように活用させていただきます。さて、今年度も農学部事務室より、希望していた「雑草学」の受講許可がおりたとの連絡がありました。4月2日に事務室へ行き、学生証等を受け取り、授業料も納めました。ところが大学より、新型コロナウイルス感染拡大の影響で5月7日まで



は講義はなし。以後はオンライン授業になるとのメールが届きました。オンライン授業は簡単を受講できると思っていたのが大間違いでした。パソコンに複雑な操作技術が必要になり、結果的には、大学へ問い合わせたり、パソコン店へ行って教えてもらったりして、何とかセットできました。第一回目の授業は用事のため受講できなかったのですが、その日教授から「どうしたのですか」のメールが届いたのです。二回目の授業で分かったのですが、受講人数が記録されるようになっており、毎回教授よりID・PW番号等がメールで送付され、私はパソコンに入力します。資料は事前にダウンロードできます。私は教授が教室で授業されている様子が映し出されると思っていたのですが、パワーポイントを使っている資料説明なので、やや期待外れでした。講義内容は高度で、理解できない部分も多くあります。50数年前のペンと紙との学生時代とは隔世の感があり、後期高齢者の私はいい経験をしています。



『要望活動 大分県連本部、由布・日田・玖珠支部の皆さん』(大分県連)



『出雲五色天神(土天神一焼物)を再現』(島根県連簸川支部)



『文化のつどい』展示会の準備』(岐阜県連岐阜支部)



『浜辺の清掃活動』(長崎県連津岐支部)



『カンボジアで指導』(愛知県連蒲郡支部)



『街歩きに集うみなさん』(新潟県連西蒲・燕支部)



『メガネ立て』(熊本県連女性部)



『介護施設訪問』(茨城県連水戸支部)

### 日公連70年の歩み

- ①昭和23年2月「全国恩給増額期成同盟」誕生。
  - ②同年5月第1回全国大会を開催、26道府県参加。
  - ③同年7月恩給増額法可決 恩給額は12~26倍となる。
  - ④同年11月「全国恩給受給者連盟」に改称。
  - ⑤昭和24年加盟団体は46都道府県に、昭和33年沖縄県連の加盟により47都道府県になる。
  - ⑥昭和25年「日本退職公務員連盟」と改称。
  - ⑦昭和26年5月「退職公務員新聞」創刊。
  - ⑧同年6月「財団法人日本退職公務員連盟」設立趣意書及び「われらの信条」を決議し、発表。
  - ⑨昭和27年4月28日天野貞祐文部大臣より、「財団法人日本退職公務員連盟」の設立が許可される。
  - ⑩連盟創立10~20周年の間に、毎年の公務員給与アップに伴う恩給増額、不均衡是正など多くの運動の成果を挙げて組織も拡大した。
  - ⑪昭和48年以降、公務員の給与の改善と物価の上昇率を恩給・年金に反映させる方式となる。第1回全国婦人部長会開催
  - ⑫昭和49年日本退公連会館が竣工。
  - ⑬日公連は「公務員の職務の特殊性を主張。昭和61年公務員固有の「職域年金部分」が新設された。
  - ⑭平成12~26年度本来水準を上回る年金額維持に尽力。
  - ⑮被用者年金一元化により職域加算部分について一定の配慮措置がつく。
  - ⑯平成25年4月『われらの信条』の下、「一般財団法人日本退職公務員連盟」として、社会保障制度改革に関する要望活動、地域社会の活性化に強力に、継続的に関わる新たな活動のスタートをする。
  - ⑰超高齢・人口減少社会における社会保障制度の在り方及び活力のある地域社会構築を今後の課題として取り組む。
- 年金制度の持続可能性の確保
  - 将来世代の年金給付水準の確保に向けた努力
  - 退公連と地域社会との関係強化
  - 会員の豊かな人生構築に力を貸す退公連の活動
  - 頻発する自然災害被災会員への義援金送付
  - 国家公務員の65歳定年法成立 令和3年6月4日

## 共に行動し、健康と生きがいを生み出す退公連をつくらう

都道府県退職公務員連盟 支部名

### 令和3年度 会員構成 (令和3年9月末現在) 単位:人

正会員	140,699	職別内訳	教職	109,239	郵政	1,535
性別			都府県職	6,940	農林	215
男	89,276		市町村職	13,323	電電	68
女	51,423		警察	5,211	専売	15
準会員	62,966		消防	2,297	国公	1,064
賛助会員	13,024		日鉄	119	その他	673
会員総数	216,689					